

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便り

お知らせ

<セキュリティ事業部>

先日、現場の警備員にお得意先の元従業員の方から電話がありました。電話の内容は当初は世間話的な内容でしたが、現場の内情を尋ねるような話題になってきたことから、不審に感じた警備員は「そういった情報は話せない」と断り情報漏洩を未然に防ぎました。顔見知りからの電話であればつい気が緩んで、職場の現状などを口にしてしまいがちですが、元同僚、元担当者など、既に部外者になっている人物に職場の情報を漏洩させないよう厳重なる注意をお願いします。



<営業推進部>

SP担当の催事で、業種によってはお得意先が自らインターネットを利用したバーチャル展示をされる場合がありますが、大半のお得意先からは従来型のリアル展示会を求める意見を聞きます。リアル展示会のメリットに挙げられている、人と人が接して商談を行い、現物を見て手に取って確認し、購入に至るといった従来型の展示会スタイルは常に求められていると感じます。デジタル化と従来型の催事の融合を検討し、お得意先との情報共有・情報交換を行い共に成功を収めることができるイベント運営を目指します。

<広島市中小企業会館>

今期は、コロナ禍による3回の臨時休館の影響を受け、多くの展示商談会やイベントがキャンセル又は延期となりましたが、令和4年度は展示会以外の業種での利用予約や問い合わせが増えており、明るい兆しも見えています。厳しい状況下にはありますが、引き続きスタッフ丸となりコロナに負けずこれを乗り切り、第58期に繋げていくことを考え進めていきます。

<広島市留学生会館> (国際交流・国際協力の拠点)

3月に入ると居住施設の退去シーズンが始まります。当会館の居住施設は単身者用80室、家族用20室の合計100室があり、コロナ禍前までは入居率は90%以上を常にキープしていましたが、前年度(令和2年度)からコロナによる渡航の制限により、居室の使用許可は得ているにも拘わらず入国する事ができない留学生が多く、入居率は75%と大きく下がりました。今年度も2月1日時点で入居率73%と依然として影響は継続しています。今後も状況は不透明ですが、常に留学生の受入れができるよう整備を進めていきます。

<クレンリネス事業部>

オフィスビルで勤務する方を対象に研修を予定していましたが、新型コロナウイルス拡大の影響により、この度は、資料の配布に代えさせて頂きました。お届けした資料の中に「トイレ清掃」がありますが、各ビルのトイレを見た際に感じることは、概ね便器や手洗い場はきれいに管理できている印象です。そこからもう少し視野を広げて、壁はどうか、扉の通気部分に埃はないか、個室の仕切りに埃はないか、便器の裏にあるコードに埃はないか等が見えるとよりレベルの高い清掃になると感じています。一度に毎日全て清拭するのではなく、立体的に見ることの大切さに気付けるだけでもレベルアップにつながりますので、チャレンジしてみてください。



<東京支店>

エスカレーターとか駅の階段で足を踏み外しそうになる経験は誰もが あると思います。

山登りでは意外と高所錯雑地より下山してきた平坦な道で小石や根に引っかかって捻挫とかすることがあるそうです。**考え事をしていたり、ホッとして集中力や注意力が欠けている時に事故やケガは起きます。**厚生労働省によれば転倒による労働災害は最も多く全体の約 25%で、その約6割が休業1ヵ月以上の大ケガです。転倒災害は、大きく分けて「滑り」「つまずき」「踏み外し」の3種類になります。転倒予防の為、①作業場所の整理整頓、②作業場所の清掃、③毎日の運動を励行しましょう。

<FM事業部>

2/1 より北部医療センター安佐市民病院附属棟の設備管理業務がスタートしました。附属棟は病院本体に隣接した医療に欠かせない建物です。設備員の常駐業務はありませんが、電気・空調・給排水・EV等各種設備の定期点検業務を多数受注していますので、FM 事業部2課を中心に、お客様に最適環境を提供できるよう一つひとつの業務を丁寧に取り組んでいきます。また、2月は電気設備年次点検の立会、新年度契約の予算見積り提出、年度末に向けては、建築物定期点検報告やスポット工事の対応等慌ただしい日々が続きますので、**各事業所の皆さんとともに基本である5SとABSを徹底し、無事故・無災害・コロナ感染予防対策に努めます。**

<安全衛生委員会>

2/18 現在の事故発生状況は、労働災害9件(1件増)、通勤災害6件(3件増)、物損事故12件(3件増)、人身事故3件(3件増)となり、合計で30件(10件増)となっています。以上のように今期は全種類の事故において前年度比較で発生件数が増加しており、「つい」や「うっかり」「不注意」や「不安全行動」による事故が多く発生しました。また、広島や東京において休業を伴う重大事故も発生しています。

新年度に向け、転倒転落事故の撲滅に関する取り組みを進めます。**今期も残り1か月余りとなりましたので今後の事故・災害をゼロに留め、新たな気持ちで新年度を迎えたいと思います。ご安全に！！**

<磨種(とぎぐさ)>

日本細菌学会第50代理事長野田公俊先生の無料教育講演『ミクロの世界からのメッセージ』は2007年頃から2018年まで全国の小中学校を行脚、縁あって広島での数年間無料教育講演のお手伝いをしたことでオオケン会社創立50周年記念事業として2015年秋に教育講演が開催でき、市留学生会館に段原小学校・荒神小学校六年生生徒他200人余で受講、後に千葉大学医学会の記念銀メダル授与と野田理事長のホームページ来歴に信賞として記載して頂きました。

この講演の中で『第2次大戦後の世界の技術革新化で発達した航空網は人流拡大を促し、今やSARSやMARSなどウイルス起源の感染によるエピデミックを誘発しているが、これがパンデミックにならぬように平生から5Sに努めよう。食中毒で多くの方を困らせたO157は感染者の6~7%はベロ毒素を産生し重篤化するものの、この菌は75度C以上の熱湯に1分間以上晒せば死滅するという事が判りました。この研究で北里柴三郎賞を貰いましたが、今日家に帰ったらお母さんに伝えよう・・・』というような判りやすい講義をして頂きとても印象に残りました。それが切っ掛けでオオケンはいコス塾を開き Infection Control Support System Service というアイコス事業を本格化することになりました。

武漢に端を発したといわれる新型コロナウイルスは今世界中に拡散し、アルファ・ベータ・ガンマ・デルタ株に変異し3年目を迎え、今やオミクロン株として世界に拡大しています。**オオケン**はホームページにUV-CによるCOVID-19病室の環境整備の手順論文を作成して公開し、正しいグリーン化例を知らせていますが英訳文も作成中で間もなく公開致します。

ウイルス類は人類が発生する以前から地球に存在して今日に至っており、我々はウイルスや菌類等あらゆる生物群と共存共栄出来るよう工夫して存続することを父祖の代から伝えられています。たとえ世界が明日滅びると知っても、私は林檎の木を植え続けると説いた偉人ルターの言葉が身に沁みます。目には見えなくとも春はすぐ其処に来ており、夏が来て秋が来る天行健なる事を楽しみにして元気に澆漑として過ごしましょう。